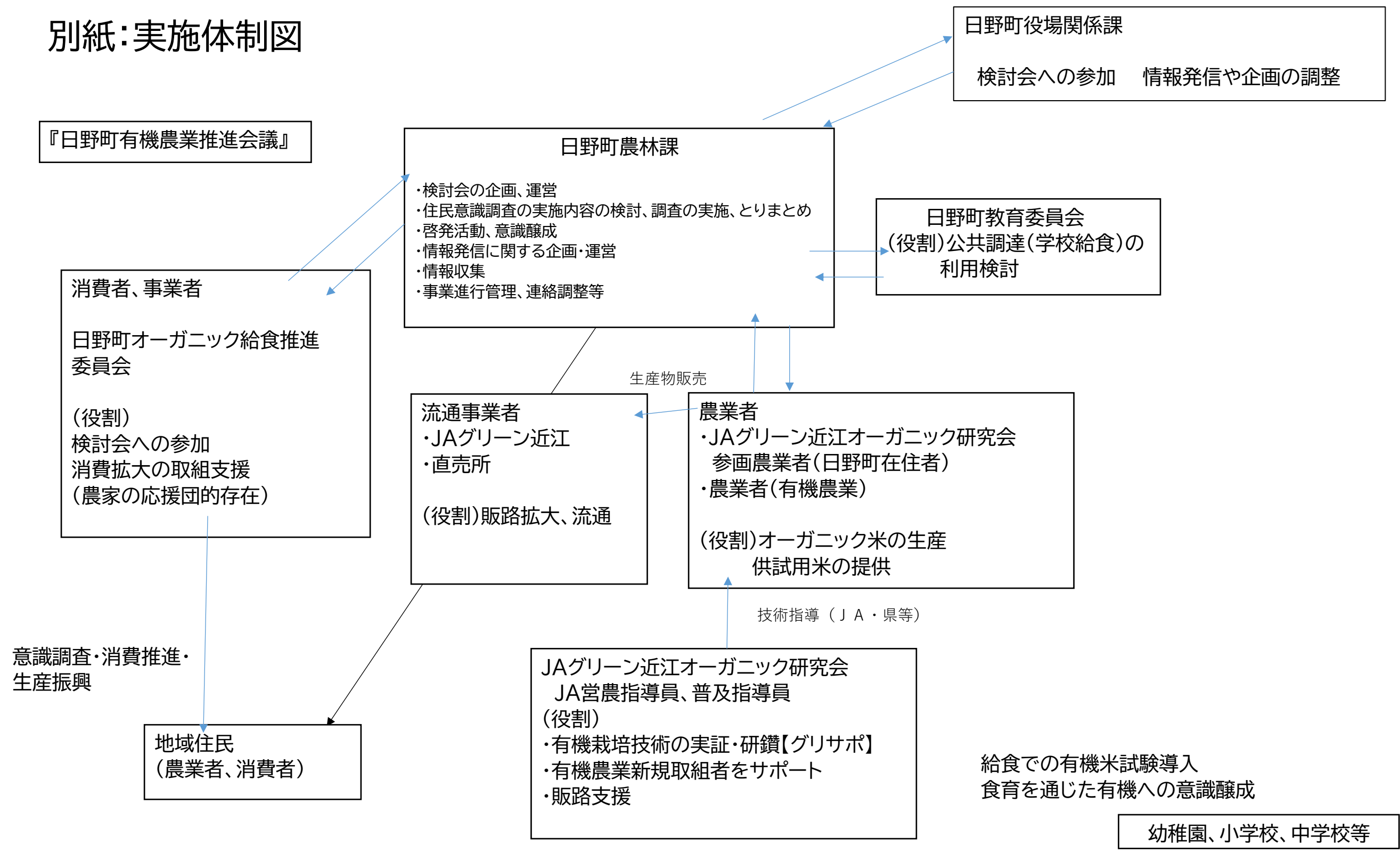


日野町有機農業実施計画

|  |
|--|
| 1. 市区町村  |
| 滋賀県日野町   |
| 2. 計画対象期間  |
| 令和7年度～令和11年度   |
| 3. 対象市区町村における有機農業の現状と5年後に目指す目標   |
| ア 有機農業の現状<br><br>当町は滋賀県の南東部、鈴鹿山系の西麓に位置する東西14.5km、南北12.3km、総面積117.60平方kmの町である。近江日野産日野菜(令和4年10月GI認証)をはじめとする特産農産物振興による地域農業の安定化や多様な農業経営体の育成、また、身近に「農」のある暮らしができる町として喫緊の課題である農業関係人口の増加を目指し、農業関連施策に取り組んでいる。その中で、環境に配慮した持続可能な農業を推奨し、みどりの食料システム戦略の実現に向け、町内で栽培された有機米の販売促進や有機農業に関する住民の意識調査や気運の醸成等に取り組んでいる。<br>現在、有機農業の取組が一部の生産者や団体により進められている。農業を持続可能なものにしていくためには、不安定な国際情勢等から起因する物価高による農業生産経費を抑えていくことが一つのポイントと考えている。昔から耕種農家と畜産農家の連携も多いことから、今後も継続して水田への堆肥散布等を促進し、化学合成肥料から有機質肥料への転換を進めていく。そして、流通や消費の部分において慣行米と差別化した販路開拓をはじめ、公共調達における有機米の活用についても検討を進めていきたい。 |
| イ 5年後に目指す目標<br><br>○環境こだわり農業における有機質肥料利用の取組者数の増加 令和6年:53名 ⇒ 令和11年:70名<br>○有機農業の面積拡大 令和6年:13ha ⇒ 令和11年:15ha<br>○有機農業者の増加 令和6年:6名 ⇒ 令和11年:9名  |
| 3. 取組内容  |
| ア 有機農業の生産段階の推進の取組<br><br>・有機農業の推進～普及活動<br>新たに有機農業や化学合成肥料から有機質肥料の利用への転換等を進められる者に対し、関係機関と連携し研修会の実施や支援を行い、有機農業の面積拡大や有機農業者の増加を図る。<br>・有機農業栽培技術指導活動<br>滋賀県みらいの農業振興課及び東近江農産普及課、近江米振興協会、東近江地域農業センター、JAグリーン近江等と連携し、雑草対策や水管理をはじめとする有機農業における技術実践に取り組み、栽培から消費までのストーリーをPRできる『売れる米づくり』を推進する。  |
| イ 有機農業で生産された農産物の流通、加工、消費等の取組<br><br>・有機農産物の販売促進と販路開拓<br>慣行米に比べ生産に多くの労力がかかる分、農家所得の確保・向上につなげる取組が求められる。JAグリーン近江等と連携し、販路開拓に向け検討を進めながら取り組む。<br>・学校給食等の公共調達の広がり活動<br>現在、実施している学校給食での有機米試験導入の課題を関係機関で共有し、さらなる広がりに向け検討を進めながら取り組む。<br>・有機農産物の消費増に向けたPR活動<br>段階的に周知啓発活動を濃くし、有機農業の取組を広くPRする。PRにあたっては、有機農産物が購入できる場所や食べられる場所等具体的に意識できるよう検討を進めながら取り組む。   |
| 4. 取組の推進体制   |
| ア 実施体制図<br>別紙  |
| イ 関係者の役割<br><br>別紙中に記載   |

|   |
|---|
| 5. 資金計画   |
| 別紙のとおり  |
| 6. 本事業以外の関連事業の概要  |
| JAグリーン近江オーガニック研究会が取り組むグリーンな栽培体系への転換サポート事業との両輪により、有機農業に取り組まれる生産者支援をはじめ、流通・消費等の拡大に向け周知・啓発を実施していく。また、有機質肥料への転換に寄与できるよう町の土づくり推進事業を継続して実施する。 |
| 7 みどりの食料システム法に基づく有機農業の推進方針について  |
| 滋賀県みどりの食料システム基本計画に照らし、設定した特定区域並びに先進的に有機農業を実践されている生産者の区域を中心に、実施計画の3のイに定めた5年後にめざす目標を達成するため取り組む。   |
| 8 その他（達成状況の評価、取組の周知等）   |
| 有機農業実施計画の進捗確認、軌道修正等を図るため、日野町有機農業推進会議を年1回以上開催する。   |

# 別紙：実施体制図



## 5 資金計画

|    | 令和 6 年度  | 令和 7 年度   | 令和 8 年度   | 令和 9 年度   | 令和 1 0 年度   | 令和 1 1 年度   |
|----|--|---|---|---|---|---|
| 区分 | <p>ア 913千円<br/>イ -</p> <p>住民等に向けた有機農業の周知啓発事業の実施、学校給食での有機米試験導入等<br/>913千円</p> <p>有機農業産地づくり推進事業を活用</p> | <p>ア 3,008千円<br/>イ -</p> <p>住民等に向けた有機農業の周知啓発事業の実施、生産者への有機JAS認証取得等の支援、学校給食等での有機米試験導入等<br/>3,008千円</p> <p>有機農業拠点創出・拡大加速化事業を活用</p> | <p>未定</p> <p>住民等に向けた有機農業の周知啓発事業の実施、生産者への有機JAS認証取得等の支援、学校給食等での有機米試験導入、販売促進や販路拡大に向けた取組等</p> <p>国や県予算、町の単独予算を活用し進める。</p> | <p>未定</p> <p>生産者の技術向上に向けた支援、学校給食での有機米試験導入、販売促進や販路拡大に向けた取組、町外へのPR等</p> <p>国や県予算、町の単独予算を活用し進める。</p> | <p>未定</p> <p>生産者の技術向上に向けた支援、学校給食での有機米試験導入、販売促進や販路拡大に向けた取組、町外へのPR等</p> <p>国や県予算、町の単独予算を活用し進める。</p> | <p>未定</p> <p>生産者の技術向上に向けた支援、学校給食での有機米試験導入、販売促進や販路拡大に向けた取組、町外へのPR等</p> <p>国や県予算、町の単独予算を活用し進める。</p> |

3 の取組内容に対応した年度ごとに記載してください